

かと思ふ。一陣の疾風が吹くと吹き靡いて
 今までの暑熱は一時に拂拭されて了ふ。驟て沛
 然たる猛雨が、バフッとも破れよとはかり降り注
 ぐ。いはや。車軸を覆へすの形を洞通りながら
 愉快である。南洋のスクラムとは、之れの大さや
 奴でらう。だがこの夕立が来ると雨漏りか
 僕へのベドはぬ人ばかり移動させやせやせらん。
 夕立は毎日来い、空突いて来い、遠慮な来い。

七月二日(木)

坂巻中尉は食事に限りから、柵や食堂にて攝
 3年になつて、其の都度第一食堂へ来ると云ふ。
 乃ち今朝僕は心待ちに、その柵を窺はんものと
 外側通路を注視してゐた。午前七時少し前
 に、一名のカーツに衛せられ、うつ向き勝ちに突然
 とやつて来た。近廻りに第一食堂前にりつて、
 同に夫や車野を覗き見て居ると、柵門迄来
 と衛兵の姿や、ぬき向つてゐると覺て、門衛
 が何処からか現れ、柵門を開け、や中尉はが
 と共に直入り食堂内へ其姿を消した。中尉の
 筋肉よくまゝ若い、青年士官の、悠揚知らぬ
 態度であるが、顔色は悪い。武運つたふかつた
 彼に取つては憂鬱やらざるを得まい。僕は彼
 の士官の姿と見、度々不覚の涙に暮れる。毅然
 たる覚悟を以て、明日後取のべき途を軽ん後ら

397

進退する決意には想像には難く、いか
不可挽か由る、戦死の機を失ふ、彼れ勇士の
意中と思ふ時、僕は斯うに安んずる顔は
してぬられず、身ぢり成る。床多す、全士官
は殆ど口と閉ぢ同胞の質問を以ては統制
答へる。口口に官に対する報告までは
何時も清らに決意でもあらうが、又米軍部との
命令でもあらう。テネシー州中、交換肉口の
同胞がお前、言傳では、お前は何処か
と尋ねるか、其の如き事を謝し、故らつて申し兼ねる
のやになつて居る。僕は彼の姿が目
につく夜もろろろと歸られ、位。其らは
彼の如き勇士あつてこそ、斯うやつて居るのだ、
其の事から彼の武勳を知るも、若く同胞向に
傳へ、讃める事より、全士官と慰めてやり度い
と思ふのだ。

夜、市から Recreation Dept を設置し、
Library, Movies, Gardening, Education 等
の部門と置く旨發表あつた。又今時は外側通
路、公園の散歩は、月本金の三日、一日二回に
分ちられるから希望者は豫め門側に集金の單
但し時間は一時間。カードを引取られての散
歩よりも構内自由の散歩の方がどんなに良
い。おつて、おつては皆おでりうか
よい。